【主要な環境パフォーマンス指標の推移】(51期：2025/7~2026/6)

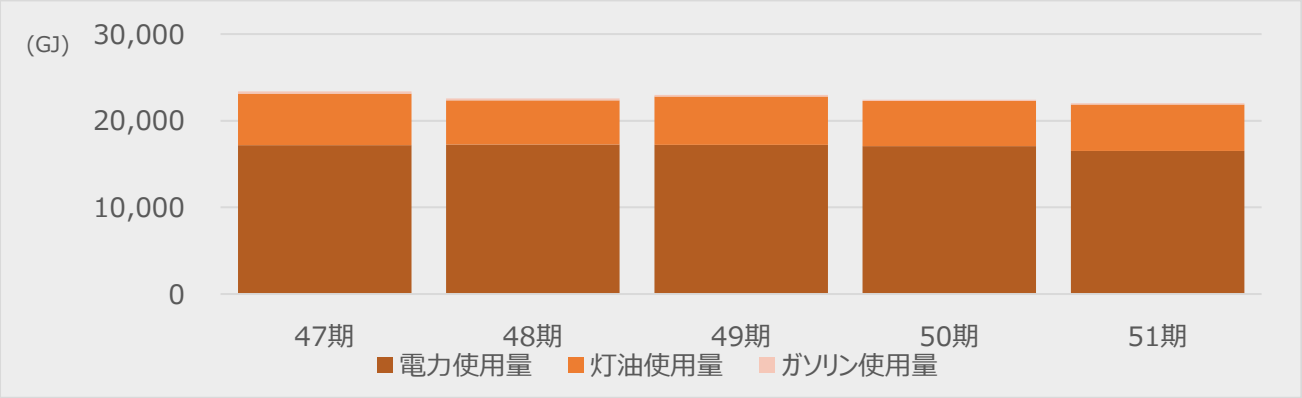
◆資源消費

当社はファブレスメーカーのため、電力、灯油および水の使用は、事業所および物流センターが中心となります。

51期のエネルギー投入量は、50期に比べて約2%減少し、売上高当たりのエネルギー原単位も49GJ/億円から48GJ/億円に改善しました。当社のエネルギーの主な用途は、各事業所における電気と冷暖房のための灯油です。引き続き、各事業所におけるLED化などを通じて、エネルギー使用量の削減に取り組んでまいります。

水資源の投入量は、前期比約13%増の10,678m³となりました。

■エネルギー投入量



エネルギー投入量	単位	47期 2021/7-2022/6	48期 2022/7-2023/6	49期 2023/7-2024/6	50期 2024/7-2025/6	51期 2025/7-2026/6
電力使用量	GJ	17,169	17,264	17,201	17,075	16,511
	Mwh	1,722	1,732	1,725	1,713	1,656
灯油使用量	GJ	5,977	5,083	5,611	5,208	5,347
	kl	163	139	153	142	146
ガソリン使用量	GJ	235	212	171	143	165
	kl	7	6	5	4	5
Total 熱量	GJ	23,380	22,559	22,983	22,425	22,023
原油換算	kl	603	582	593	579	568
エネルギー原単位 (売上高当たり)	GJ/億円	46	48	54	49	48

※集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル、ラボ）、能美物流センター、各営業拠点を対象としています。

■水資源使用量

水資源	単位	47期 2021/7-2022/6	48期 2022/7-2023/6	49期 2023/7-2024/6	50期 2024/7-2025/6	51期 2025/7-2026/6
取水量 水道	m3	5,476	5,586	5,449	6,000	6,779
地下水		4,001	3,123	2,323	3,469	3,899
合計		9,477	8,709	7,772	9,469	10,678
排水量	m3	5,476	5,100	5,449	6,000	6,779

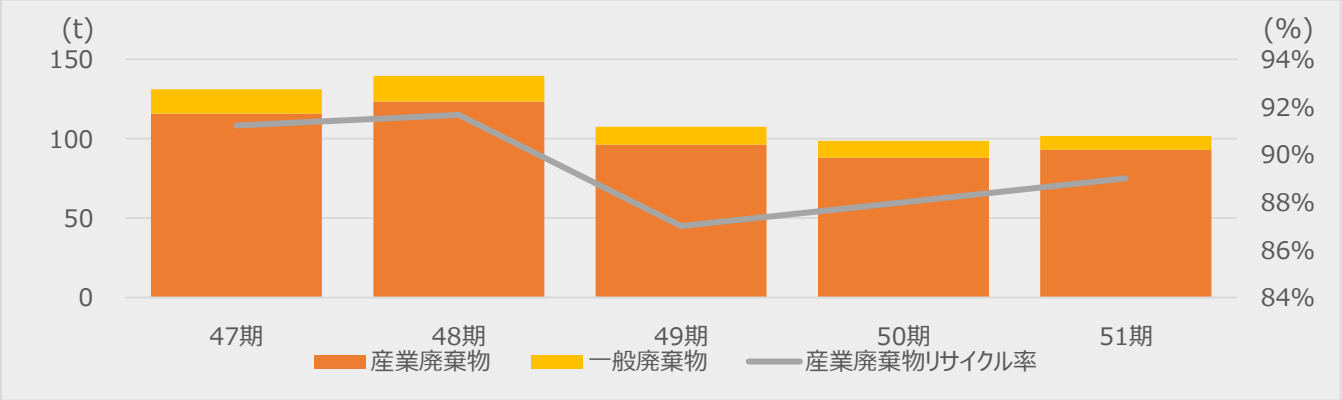
※集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル、ラボ）、能美物流センターを対象としています。

◆排出物

排出物の発生量は、50期より約3%増加し、101.7トンとなりました。一方、一般廃棄物は前期比で約18%減少し、産業廃棄物のリサイクル率は前期の88%から89%に向上しました。

当社では、海外からの輸送に使用された木パレットについて、再利用可能なものを国内の取引先への配送に再利用しています。引き続き、排出物の削減とリユース・リサイクルを推進し、環境負荷の低減に取り組んでまいります。

■廃棄物



	単位	47期	48期	49期	50期	51期
		2021/7-2022/6	2022/7-2023/6	2023/7-2024/6	2024/7-2025/6	2025/7-2026/6
産業廃棄物	t	115.8	123.3	96.2	87.9	92.9
一般廃棄物		15.3	16.2	11.3	10.7	8.8
産業廃棄物リサイクル率	%	91%	92%	87%	88%	89%

※集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル、ラボ）、能美物流センターを対象としています。